

❖❖ 創刊にあたって [会長挨拶]

県民の皆さんの
健康づくりの一助に

体調が悪いときにかかる病院。皆さんが一番医師を身近に感じていただけるのは、そんなときではないでしょうか？しかし、県内で働く医師たちは、個々の治療以外にも県民の皆さんに健やかな生活をおくっていただくため、予防を含めた健康づくりのお手伝いを様々なかたちで行っています。今回発刊する「はつらつ通信」は、そんな医師たちの思いを県民の皆さんにお届けするための情報誌です。手にとり読んでいただいた皆様が、少しでも健康づくりに関心をもっていたら、佐賀県医師会を身近に感じていただければ幸いです。



佐賀県医師会会長 沖田 鑑光

県民の皆様、こんにちは。佐賀県医師会会長の沖田と申します。

この度、佐賀県医師会では、県民の皆様に向けた健康情報誌「はつらつ通信」を創刊することといたしました。現在、テレビやラジオ、新聞、雑誌、インターネットなど様々な媒体を通じ、健康に関する多くの情報が発信されておりますが、その情報のなかには、医療の専門家ではない方による誤った情報もあります。「はつらつ通信」では、わたしたち医療の専門家が、県民の皆様が安心して実践できる病気の予防法などをお伝えしていくこととしております。皆様方が、心身ともに健やかに生活していくための一助となれば、幸いです。

さて、県民の皆様方のかには、佐賀県医師会がどのような団体なのかよくわからない方もいらっしゃると思います。佐賀県医師会は、県内で開業している医師や民間・国公立の病院・診療所に勤務している医師により組織する団体で、明治40年に産声をあげ、幾多の変遷を経て戦後、昭和22年に公益社団法人である新生医師

会として創設されました。以来、日進月歩する医学・医療に対応するため、医師の生涯教育に取り組むとともに、行政と協力しながら、県民の皆様が健康で安心した生活を送るための手助けを続けています。

しかし、わたしたち医師会の活動が県民の皆様の方に留まる機会は少なく、十分に理解・認識されていないのが現状です。加えて、近年、多発する医療事故などにより、皆様方の医療に対する信頼は揺らいでおります。

このような状況のなか、わたしたちは医療機関における安全管理教育を徹底し、医療事故防止に努めることが、医療への信頼回復を図る第一歩であると考えています。と同時に、県民の皆様へ積極的に情報を発信し、日本の医療の現状や医師会の活動考え方についてご理解いただき、皆様方と一緒に、よりよい医療・福祉の姿について考えていくことが必要であると思っています。この情報誌「はつらつ通信」が、県民の皆様と我々をつなぐ架け橋になることを祈念しております。